

令和6年度 第1回社会教育委員の会 議事要点録

- 1 日 時 令和6年8月27日(火) 13:58~15:35
- 2 場 所 鈴鹿市役所本館12階 1204
- 3 出席委員 衣斐 弘行 上田 章善 樋口 よしゑ 坂 公子 (以上4名)
欠席 杉野 美佳 村田 多恵子
逝去 森川 克美
- 4 事務局等 文化スポーツ部長 澤 卓男
文化スポーツ部文化振興課長 柳井谷 光教
文化スポーツ部文化財課長 大窪 隆仁
文化スポーツ部図書館長 中村 仁美
地域振興部地域協働課長 小野 秀哉
地域協働課総務GL 石井 一成
文化振興課生涯学習GL 小林 直子
文化振興課生涯学習G 徳田 健介 (以上8名)
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議概要 以下の通り
 - (1) あいさつ
文化スポーツ部長よりあいさつ
 - (2) 自己紹介
社会教育委員、市側出席者
 - (3) 座長選出
樋口委員を座長に選出
 - (4) 協議事項
令和6年度 社会教育分野の主要事業について各課長、館長より説明

【質疑応答】

(坂委員)

資料の中で主要事業の予算額を挙げているが、前年比増えたのか減ったのかがよくわからなかった。今説明していただいた事業の中で、特に今年度目玉にしていることや新規事業など、力を入れたいところがあれば、教えてほしい。

(文化振興課長)

市民学習活性化事業費のところ。今まで6講座を開設していたが、今年度は2つ、企業と三重県生涯学習センターにお願いして講座を増やしたという部分はある。

(文化財課長)

一般文化財保存事業費の中の、全国重要無形文化財保持団体協議会の鈴鹿大会、こちらが開催の自治体としての負担金があるので、事業費としては例年より膨らんでいる。

一般文化財活用事業費、デジタルアーカイブの構築だが、こちら、財源は、ほぼ図書館振興財団の

助成金を受けるので、自主財源はごく一部になっているが今年度の新規事業になる。

(樋口委員)

全国重要無形文化財保持団体協議会鈴鹿大会について、詳細少しでもわかれば教えてほしい。

(文化財課長)

重要無形文化財保持団体は全国 16 団体あり、団体及び関係する市町 24 になり、それが鈴鹿に集まり総会を開いて、意見交換などを行う。併せて今回、文化財の防災についての講演会を実施して、文化財と防災を考えるというのに加え、このチラシの秀作展を 16 の団体、鈴鹿では伊勢型紙、その他では、焼き物関係や和紙の関係など、様々な団体があり、その団体からそれぞれの作品を送っていただき、秀作展という形で実施をする。

(樋口委員)

具体的に日程は決まっているのか。

(文化財課長)

鈴鹿大会が 10 月 17 日で、秀作展は 10 月 18 日から 27 日まで。

(坂委員)

これは、持ち回りで毎年しているものなのか。

(文化財課長)

昨年度は、佐賀県の有田町で、来年は新潟。有田町は 2 つ、有田焼関係の技術の団体が 2 か所あるので、有田町は一度に 2 団体あるので基本的には間が 14 年。

(樋口委員)

全国からみえるのか。

(文化財課長)

遠いところは津軽から、沖縄も。沖縄は全部で 3 団体ある。

(図書館長)

図書館は今年度、新たに旗立てる事業というものはない。図書の購入費も据え置き、例年通りである。また事業費についてもなかなか予算上ついていないので、現状の予算の中で、工夫をしながら、運営していくという形になる。

ただ、主要事業の維持修繕費。今年度は予算が 561 万円ついている。例年だと数十万の修繕費だが、図書館も 43 年経ち、老朽化しているので、様々なところに、故障が出てきている。今回は空調と車庫のシャッターの修繕の費用として、例年よりも 500 万円ほど予算の方いただいたので、こちらの方だけが、違う。

(樋口委員)

43 年で、いずれ建て替えるとか移転するというような、そういう話はあるのか。

(図書館長)

公共施設計画の中で、令和 6 年度から令和 9 年度の間に、どのような方向に整理していくかというのを考えるとなっているので、まさに今からどういうふうにしていくか、建て替えなのか、長寿命化なのかというようなどころも含めながらの調査、検討を進めていく。

(地域協働課長)

地域協働課の新規事業については、例年通り。公民館管理運営事業費だが、市内 30 か所プラス

ふれあいセンターの施設があるので、老朽化を含めて、建物の修繕、空調機の修繕等がかなり多くなってきたり、この予算額では足りない部分がある可能性も出てきている。補正予算の対応なども、検討しながら、地域の方に利用していただきやすい環境づくりを、今年度も進めて参りたい。

(衣斐委員)

土曜体験学習とは具体的にどのようなものか

(文化振興課長)

例えば竹工作とか、流しそうめんとか、たこづくりとか。地域の子どもたちに、例えばその地域に合った伝統の何かを教えることもあれば、飯盒でご飯を炊くとかもある。今回の土曜体験学習事業というのは流しそうめんの器具を作るなどを、サポーターの方々が子どもたちに教えていただける。

(衣斐委員)

ちょうど土曜日が休みになったころ、土曜日に小学校行くと、子どもらが自分らでやっていて、それが発展していった今の神戸フェニックスになった。やっぱり周りの人たちが子どもと接しながら、育てていくことは大事だ。

(文化振興課長)

そこは基本だと感じている。子どもたちも興味のあるものが、吹奏楽であったり、工作であったり、読書であったり、色々な子どもたちがいる。地域でも、その少年団の取り組み、放課後子ども教室や、この土曜体験学習、また、まだ子ども会が存在するようなどころもあるので、地域づくり協議会の方も、このようなことを行っていただいているが、そのようなことが、とても大切と思う。行政としても、この放課後子ども教室とか、学習体験事業というのは、国からもらっている補助金等もあるので、地域の方々がこういったことに興味あるよって言ったときは、うちの方から、アナウンスもできる。

(衣斐委員)

9 ページの上の、森や緑を大切に思う人づくりを進めるというもので、各公民館で違うとは思いますが、何か具体的なものを教えてほしい。

(地域協働課長)

例えば正月飾りとか、そういった三重の木を使って、工作をするというところで、この森と緑の県民税というものがあるので、その木を使った、サークル活動となる。各 11 施設が予算を取りながら、先生に教えてもらい、そういったものを作って帰っていかれるとなっている。

(衣斐委員)

かつて箕田の竹を利用して竹とんぼつくってみえた方がいた。その方が市内の小中学校全部に作った。寄付したいということで。それもやはりこれに関連してるので、何かそういう人がおられると思う。このように、子どもらが社会一般の方と結びつきながら、そしてまた、広がりがあったらいいと思う。

(衣斐委員)

図書館の方で何かイベントがあった。

(図書館長)

平和へのメッセージ展は図書館でしたいと、主催者の方から申し出があったので、図書館の方で

自主開催した。その前の20、21日は、お話のボランティアさんが主催していただく子ども向けの仕掛け絵本を楽しもうというイベント。これは、文化振興課が間に入ってもらい、文化会館の研修室の方を使い、開催をした。

(衣斐委員)

クーラー止まってしまったときいたが大丈夫だったか。

(図書館長)

水漏れができて、その原因が分からなかったので、いろいろ調べている。空調ではないかということで、一旦その空調を止めたり水を止めたりとか。イベントの方は早急に対応した方がいいということで、もう早めに、主催者側の声を聞きながら、場所の方を代えさせていただいた。

(坂委員)

今回文化会館が綺麗になって、見せてもらったのだが、どうしてもその文化会館綺麗になった分図書館の周囲の草木が気になる。手入れがなかなか難しいかなと思うが、予算はついてないのか。

(図書館長)

予算は、ついているが、そんなにたくさんついているわけではないので、美化ボランティアさんとか関わってもらいながら、剪定をしてもらっている。中々刈っても刈っても出てくるのでイタチごっこみたいなのところもある。

(樋口委員)

この中には文化会館とか、主要施策とか全然絡まないのか。

(文化振興課長)

直接ではないが、文化会館は、おっしゃってもらったように、もうリニューアルし、ここからようやくスタートで、名前の募集している。市民の方々も、文化会館や市民会館で、合唱コンクールとか必ずいったことは、小さいときでもあるかと思うが、常時来られる方が、やっぱり少ない。今回は文化会館の場合は、多目的ドームをまた皆さんにも、アナウンスしたいと思う。旧プラネタリウムをフラットにして、映像ドームとして楽しむこともできるし、そこでダンスであったりヨガ教室であったり、色々なことが楽しめる部分だと思う。地域のNPOの方々や若い人など、そういった方々にしっかりアナウンスして使ってもらい、例えばフェイスブックとかそういうXとか、SNS使ってもらい、こんな感じで利用できるんやっていうのを広めていこうかな、いきたいと考えている。

研修室も5つある。大きさによって様々だが、企業も、そういうところで講座を開いてもらうとか。そういった部分も指定管理になったので、積極的にそういったアナウンスっていうか、営業にも、行ってもらう。直営よりはかなりやりやすく、この稼働率もしっかり上げていけるんじゃないのかなというふうには感じている。

(樋口委員)

使用料が高いので、安いところを探してしまう。

(文化振興課長)

近隣の市町と比べても高いかというところでもない。ただ、やはりこの3、4年ぐらい、コロナの影響で、文化会館は大規模改修で閉めていたが、安いところを紹介してもらったということで、離れていった方々もやっぱりみえる。新規開拓とともに、今まで使ってもらった方々へのアナウンス

とか、綺麗になりましたし、中を見てもらえれば、良いなと使ってもらえる。皆様にも文化会館きれいになったよと、アナウンスしてもらえれば。

(樋口委員)

せっかくの鈴鹿のいい施設なので。

(文化振興課長)

何かこうおっしゃってもらったら、指定管理に繋がながら、館の見学ももちろんできるし、特徴もしっかり丁寧に、案内させてもらうので、何なりと教えてほしい。

(坂委員)

オープニングに行かせてもらったときに、大谷さんのパフォーマンスがあったが、もう人が周りに寄ってしまい全然見えなかった。例えばプロジェクターなどで映すとか工夫をしてもらうと、同じフラットのところにいるものでも見る事ができたのに、すごく残念だった。あと車椅子の方がみえたけど、その人を見やすいところへ案内することもなかった。来賓の方々が上から見ていたことがすごく気になった。機会があれば参考にしてほしい。

(文化振興課長)

正直、あそこまで人が集まるとは思っていなかった。上から見てもらわなくてはいけないだろうと、来賓の方は、何とかここにいてほしいというアナウンスだった。そして下に、200人ぐらい来たらありがたいと言っていたら、蓋を開けるとバーッと来られた。よかったことで、盛り上がった感があった。しかし時、神戸高校の時間が遅れたとか色々な反省点があった。

(樋口委員)

その作品はどうされたのか。

(文化振興課長)

そのまま1週間ぐらい入口左側に展示していた。後は、文化会館にある。

もう一つ補足を。土曜学習、放課後子ども教室もそうですけど、何かを作るっていうのだけじゃなく、礼儀や後片付けなど、総合的にそういったことも学習の中には含まれている。全校児童数が少ないところでも、放課後子ども教室への参加割合が良いところもある。ただ、やってもらっているサポート関係者の方々は高齢になり、65、70まで働いていかなければいけない中で、そこまで手が出でないというのが現実。そういった中でやってもらっているところはありがたいが、体験だけじゃなく、総合的に、子どもにとっては非常良い学習体験になるというふうに思っている。

(坂委員)

白子が今年度休止になったのはなぜか。

(文化振興課長)

学校を実は使用させてもらっていたが、なかなか空き教室がなくなってきたと聞いている。

(坂委員)

学校側からの申し出か。

(文化振興課長)

そこで開催できないと。

(樋口委員)

その他、よろしいか。

私たちは社会教育委員という立場で、各課からの事業に対しての把握させていただくというのが主な内容だと思うが、その都度、会議だけでなく色々教えていただいたり、具体的なことを、こちらにも発信していただいたりしてもらえればと3年目にして思う。これで座長を解任させていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

樋口座長、長時間の議事進行ありがとうございました。これにて、議事を終了する。